

1. プロトコル

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1
Data Bit	8
Parity Even	
Data Rate	1200, 2400, 4800, 9600bps 可変
Code	ASCII
ターミネート	CR LF

2. Write コマンド

マルチプレクサ (MCS-1640) が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。
「MENU+CR,LF」を返します。

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「E0+CR,LF」	フレーミングエラー
「E1+CR,LF」	パリティエラー
「E2+CR,LF」	オーバーランエラー
「E3+CR,LF」	コマンドエラー
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「LOCK+CR,LF」	Lock 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態
「FREEZE+CR,LF」	Freeze 状態
「BYPASS+CR,LF」	VCR Bypass 状態

2-2. Command

2-2-1. 「ADTnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time)

ALARM DURATION TIME の設定をします。

nnn は時間で単位は、秒です。設定範囲は【001】～【999】秒です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-2. 「AICB+CR,LF」 (Alarm Input Contact Break)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【BREAK】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3. 「AICM+CR,LF」 (Alarm Input Contact Make)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【MAKE】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-4. 「AME+CR,LF」 (Alarm Mode External)

ALARM MODE の設定を【EXT.】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-5. 「AMI+CR,LF」 (Alarm Mode Internal)

ALARM MODE の設定を【INT.】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6. 「AR B+CR,LF」 (Alarm Return Before.)

ALARM RETURN の設定を【BEFORE】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7. 「AR F+CR,LF」 (Alarm Return Fix)

ALARM RETURN の設定を【FIX】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8. 「AV P 2+CR,LF」 (Alarm VCR Pattern 2H)

ALARM VCR PATTERN の設定を【2H】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-9. 「AV P F+CR,LF」 (Alarm VCR Pattern Fix)

ALARM VCR PATTERN の設定を【FIX】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-10. 「AV P N+CR,LF」 (Alarm VCR Pattern None)

ALARM VCR PATTERN の設定を【NONE】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-11. 「BL B+CR,LF」 (Border Line Black)

BORDER LINE の設定を【BLACK】に設定します。

2-2-12. 「BL W+CR,LF」 (Border Line White)

BORDER LINE の設定を【WHITE】に設定します。

2-2-13. 「BL O+CR,LF」 (Border Line Off)

BORDER LINE の設定を【OFF】に設定します。

2-2-14. 「C 0 1+CR,LF」～「C 1 6+CR,LF」 (Camera ch.1～16)

カメラのチャンネル No. 1～16 を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-15. 「CA 0 1*****+CR,LF」～「CA 1 6*****+CR,LF」

(Character title ch. 1～16)

各チャンネルのタイトルキャラクタを設定します。

タイトルの文字長さは8文字なので8文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

*印はキャラクタで別紙の ASCII Code 表を参照してください。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-16. 「CCA+CR,LF」 (Connector Connection Alarm)

REMOTE IN の設定を【ALARM】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-17. 「CCR+CR,LF」 (Connector Connection Remote)

REMOTE IN の設定を【REMOTE】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-18. 「C A S F+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Full)

単画面オートシケンスのカメラ切換えを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-19. 「C A S M+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Multi)

分割画面オートシケンスのカメラ切換えを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-20. 「CM4 A+CR,LF」～「CM4 D+CR,LF」 (Camera Multi 4 分割A～D)

カメラの4分割A～4分割Dを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-21. 「CM9 A+CR,LF」～「CM9 B+CR,LF」 (Camera Multi 9 分割A～B)

カメラの9分割A～9分割Bを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-22. 「CM16+CR,LF」 (Camera Multi 16 分割)

カメラの16分割Aを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと Freeze を強制解除します。

2-2-23. 「C A S T n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time)

AUTO SEQ. TIME の設定をします。

n n nは時間で単位は、秒です。 設定範囲は【001】～【999】秒です。

2-2-24. 「C T F O N+CR,LF」 (Character Title Full On)

TITLE MONITOR FULL の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-25. 「C T F O F+CR,LF」 (Character Title Full Off)

TITLE MONITOR FULL の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-26. 「C T M O N+CR,LF」 (Character Title Multi On)

TITLE MONITOR MULTI の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-27. 「CTMOF+CR,LF」 (Character Title Multi Off)

TITLE MONITOR MULTI の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-28. 「CTVON+CR,LF」 (Character Title VCR output On)

TITLE VCR OUTPUT の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-29. 「CTVOF+CR,LF」 (Character Title VCR output Off)

TITLE VCR OUTPUT の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-30. 「CX01nn+CR,LF」～「CX16nn+CR,LF」 (Character title position X座標)

各チャンネルの TITLE POSITION のX座標 (横) を設定します。

nnは座標値で範囲は、【01】～【17】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-31. 「CY01nn+CR,LF」～「CY16nn+CR,LF」 (Character title position Y座標)

各チャンネルの TITLE POSITION のY座標 (縦) を設定します。

nnは座標値で範囲は、【03】～【12】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-32. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【01】～【31】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-33. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【01】～【12】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-34. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【99】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-35. 「ENON+CR,LF」 (Event Number On)

ALARM EVENT NUMBER の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-36. 「ENOF+CR,LF」 (Event Number Off)

ALARM EVENT NUMBER の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-37. 「ER+CR,LF」 (Event memory Reset)

記憶されているアラームのイベントメモリを全て消去します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-38. 「FON+CR,LF」 (Freeze On)

Playback (VCR 再生画面) 時、画面を Freeze します。

Playback (VCR 再生画面) 時でない場合に、このコマンドを受けますと「GN+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。。

2-2-39. 「F O F+CR,LF」 (FREEZE OFF)

Playback (VCR 再生画面) 時、FREEZE されている画面を解除します。

Playback (VCR 再生画面) 時でない場合に、このコマンドを受けますと「G N+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-40. 「L S F 0 1 L+CR,LF」～「L S F 1 6 L+CR,LF」 (Live channel Sequence Full Live)

LIVE CHANNEL SEQUENCE FULL の各チャンネルの設定を【L I V E】に設定します。

2-2-41. 「L S F 0 1 S+CR,LF」～「L S F 1 6 S+CR,LF」 (Live channel Sequence Full Skip)

LIVE CHANNEL SEQUENCE FULL の各チャンネルの設定を【S K I P】に設定します。

2-2-42. 「L S M 4 A L+CR,LF」～「L S M 1 6 L+CR,LF」 (Live channel Sequence Multi Live)

LIVE CHANNEL SEQUENCE MULTI の各チャンネルの設定を【L I V E】に設定します。

2-2-43. 「L S M 4 A S+CR,LF」～「L S M 1 6 S+CR,LF」 (Live channel Sequence Multi Skip)

LIVE CHANNEL SEQUENCE MULTI の各チャンネルの設定を【S K I P】に設定します。

2-2-44. 「L V 0 1 L+CR,LF」～「L V 1 6 L+CR,LF」 (Live channel VCR Live)

LIVE CHANNEL VCR の各チャンネルの設定を【L I V E】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-45. 「L V 0 1 S+CR,LF」～「L V 1 6 S+CR,LF」 (Live channel VCR Skip)

LIVE CHANNEL VCR の各チャンネルの設定を【S K I P】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-46. 「L O N+CR,LF」 (Lock On)

フロントスイッチにロックをかけ操作を不可能にします。

また、RS-232C コマンド、リモートによるチャンネル切換えも受け付けません。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Playback (VCR 再生画面) 状態、VCR Bypass 状態の時に、このコマンドを受けますと

「G N+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-47. 「L O F+CR,LF」 (Lock Off)

フロントスイッチのロック状態を解除します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Playback (VCR 再生画面) 状態、VCR Bypass 状態の時に、このコマンドを受けますと

「G N+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-48. 「P 0 1+CR,LF」～「P 1 6+CR,LF」 (Playback ch. 1～16)

Playback (VCR 再生画面) チャンネル No. 1～16 を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「L O C K+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「F R E E Z E+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-49. 「P A O N+CR,LF」 (Playback Alarm On)

CAMERA←P.B の設定を【O N】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-50. 「P A O F+CR,LF」 (Playback Alarm Off)

CAMERA P.B の設定を【O F F】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「A L A R M+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-51. 「PM4 A+CR,LF」～「PM4 D+CR,LF」 (Playback Multi 4分割 A～D)

Playback (VCR 再生) の4分割 A～4分割 Dの画面を選択します。

「PM4 A+CR,LF」	1～4チャンネル
「PM4 B+CR,LF」	5～8チャンネル
「PM4 C+CR,LF」	9～12チャンネル
「PM4 D+CR,LF」	13～16チャンネル

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-52. 「PM9 A+CR,LF」～「PM9 B+CR,LF」 (Playback Multi 9分割 A～B)

Playback (VCR 再生) の9分割 A～9分割 Bの画面を選択します。

「PM9 A+CR,LF」	1～9チャンネル
「PM9 B+CR,LF」	8～16チャンネル

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-53. 「PM16+CR,LF」 (Playback Multi 16分割)

Playback (VCR 再生) の16分割画面を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-54. 「SM01+CR,LF」～「SM16+CR,LF」 (Spot Monitor ch.1～16)

SPOT MONITOR のチャンネル設定をします。

2-2-55. 「TSDD+CR,LF」 (Time Signal Display D/M/Y)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【D/M/Y】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-56. 「TSDM+CR,LF」 (Time Signal Display M-D-Y)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【M-D-Y】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-57. 「TSDY+CR,LF」 (Time Signal Display Y.M.D)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【Y. M. D】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-58. 「TSFON+CR,LF」 (Time Signal monitor Full On)

TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-59. 「TSFOF+CR,LF」 (Time Signal monitor Full Off)

TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-60. 「TSMON+CR,LF」 (Time Signal monitor Multi On)

TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を【ON】に設定します。

2-2-61. 「TSMOF+CR,LF」 (Time Signal monitor Multi Off)

TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を【OFF】に設定します。

2-2-62. 「T S VON+CR,LF」 (Time Signal VCR output On)

TIME SIGNAL VCR OUTPUT の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-63. 「T S VOF+CR,LF」 (Time Signal VCR output Off)

TIME SIGNAL VCR OUTPUT の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-64. 「T S A+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-65. 「T S H n n+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【23】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-66. 「T S M n n+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-67. 「T S S n n+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-68. 「V B+CR,LF」 (VCR Bypass)

VCR Through (Bypass) Mode に切り換えます。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

Freeze 状態の時に、このコマンドを受けますと「FREEZE+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-69. 「V L M O O F+CR,LF」 (Video Loss Monitor Out Off)

VIDEO LOSS MONITOR OUT の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-70. 「V L M O O N+CR,LF」 (Video Loss Monitor Out On)

VIDEO LOSS MONITOR OUT の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-71. 「V L V O O F+CR,LF」 (Video Loss VCR Out Off)

VIDEO LOSS VCR OUT の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-72. 「V L V O O N+CR,LF」 (Video Loss VCR Out On)

VIDEO LOSS VCR OUT の設定を【ON】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-73. 「VLCnn+CR,LF」 (Video Live Color nn)

VIDEO LIVE COLOR の設定を【nn】に設定します。

nnは数値で設定範囲は【00】～【15】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-74. 「VPCnn+CR,LF」 (Video Playback Color nn)

VIDEO P.B. COLOR の設定を【nn】に設定します。

nnは数値で設定範囲は【00】～【15】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-75. 「VRCnn+CR,LF」 (Video Record Color nn)

VIDEO RECORD COLOR の設定を【nn】に設定します。

nnは数値で設定範囲は【00】～【15】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-76. 「VTFnnn+CR,LF」 (VCR Trigger Field nnn)

VCR TRIGGER FIELD の設定を【nnn】に設定します。

nnnはField 数で設定範囲は【002】～【999】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-77. 「VTMH+CR,LF」 (VCR Trigger Mode High)

VCR TRIGGER MODE の設定を【HIGH】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-78. 「VTML+CR,LF」 (VCR Trigger Mode Low)

VCR TRIGGER MODE の設定を【LOW】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-79. 「VTMO+CR,LF」 (VCR Trigger Mode Off)

VCR Trigger Mode の設定を【OFF】に設定します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

3.Read コマンド

3-1.異常時 Answer

「E 0+CR,LF」	フレーミングエラー
「E 1+CR,LF」	パリティエラー
「E 2+CR,LF」	オーバーランエラー
「E 3+CR,LF」	コマンドエラー

3-2.Command

3-2-1. 「R A E+CR,LF」 (Read Alarm Event 件数)

記録されているアラーム Event の件数を返します。

「0 0+CR,LF」～「1 0 0+CR,LF」

3-2-2. 「R A D T+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

ALARM DURATION TIME の設定値を返します。単位は秒です。

「0 0 1+CR,LF」～「9 9 9+CR,LF」 【0 0 1】～【9 9 9】

3-2-3. 「R A I C+CR,LF」 (Read Alarm Input Contact)

Alarm Input Contact の設定を返します。

「A I C M+CR,LF」	【MAKE】
「A I C B+CR,LF」	【BREAK】

3-2-4. 「R A M+CR,LF」 (Read Alarm Mode)

ALARM MODE の設定を返します。

「A M E+CR,LF」	【E X T. 】
「A M I+CR,LF」	【I N T. 】

3-2-5. 「R A R+CR,LF」 (Read Alarm Return)

ALARM RETURN の設定を返します。

「A R F+CR,LF」	【F I X】
「A R B+CR,LF」	【B E F O R E】

3-2-6. 「R A V P+CR,LF」 (Read Alarm VCR Pattern)

ALARM VCR PATTERN の設定を返します。

「A V F+CR,LF」	【F I X】
「A V 2+CR,LF」	【2 H】
「A V N+CR,LF」	【N O N E】

3-2-7. 「R B L+CR,LF」 (Read Border Line)

BORDER LINE の設定を返します。

「B L B+CR,LF」	【B L A C K】
「B L W+CR,LF」	【W H I T E】
「B L O+CR,LF」	【O F F】

3-2-8. 「R C A 0 1+CR,LF」～「R C A 1 6+CR,LF」 (Read Character title ch.1～16)

各チャンネルのキャラクタタイトル設定を返します。

「*****+CR,LF」

3-2-9. 「R C C+CR,LF」 (Read Connector Connection)

REMOTE IN の設定を返します。

「C C A+CR,LF」	【A L A R M】
「C C R+CR,LF」	【R E M O T E】

- 3-2-10. 「R C A S T+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time)
 AUTO SEQ. TIME の設定値を返します。単位は秒です。
 「0 0 1+CR,LF」 ～ 「9 9 9+CR,LF」 【0 0 1】 ～ 【9 9 9】
- 3-2-11. 「R C T F+CR,LF」 (Read Character Title monitor Full)
 TITLE MONITOR FULL の設定を返します。
 「C T F O N+CR,LF」 【O N】
 「C T F O F+CR,LF」 【O F F】
- 3-2-12. 「R C T M+CR,LF」 (Read Character Title monitor Multi)
 TITLE MONITOR MULTI の設定を返します。
 「C T M O N+CR,LF」 【O N】
 「C T M O F+CR,LF」 【O F F】
- 3-2-13. 「R C T V+CR,LF」 (Read Character Title VCR output)
 TITLE MONITOR VCR OUTPUT の設定を返します。
 「C T V O N+CR,LF」 【O N】
 「C T V O F+CR,LF」 【O F F】
- 3-2-14. 「R C X 0 1+CR,LF」 ～ 「R C X 1 6+CR,LF」 (Read Character title position X座標 ch.1～16)
 各チャンネルの TITLE POSITION のX座標 (横) 設定値を返します。
 「0 1+CR,LF」 ～ 「1 7+CR,LF」 【0 1】 ～ 【1 7】
- 3-2-15. 「R C Y 0 1+CR,LF」 ～ 「R C Y 1 6+CR,LF」 (Read Character title position Y座標 ch.1～16)
 各チャンネルの TITLE POSITION のY座標 (縦) 設定値を返します。
 「0 3+CR,LF」 ～ 「1 2+CR,LF」 【0 3】 ～ 【1 2】
- 3-2-16. 「R E 0 1+CR,LF」 ～ 「R E 1 0 0+CR,LF」 (Read alarm Event memory)
 アラームの EVENT MEMORY の Data を返します。
 「c h y y m m d d h h M M s s+CR,LF」
 ch=チャンネルNo. yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 mm=分 ss=秒
- 3-2-17. 「R E N+CR,LF」 (Read Event Number)
 ALARM EVENT NUMBER の設定を返します。
 「E N O N+CR,LF」 【O N】
 「E N O F+CR,LF」 【O F F】
- 3-2-18. 「R F+CR,LF」 (Read Freeze)
 Freeze の状態を返します。
 「F O N+CR,LF」 Freeze On
 「F O F+CR,LF」 Freeze Off
- 3-2-19. 「R L+CR,LF」 (Read Lock)
 Lock の状態を返します。
 「L O N+CR,LF」 Lock On
 「L O F+CR,LF」 Lock Off
- 3-2-20. 「R L S F 0 1+CR,LF」 ～ 「R L S F 1 6+CR,LF」 (Read Live channel Sequence Full ch.1～16)
 各チャンネルの LIVE CHANNEL SEQUENCE FULL の設定を返します。
 「S K I P+CR,LF」 【S K I P】
 「L I V E+CR,LF」 【L I V E】

3-2-21. 「RLSM4A+CR,LF」～「RLSM16+CR,LF」 (Read Live channel Sequence Multi 4A～16)

各チャンネルのLIVE CHANNEL SEQUENCE MULTIの設定を返します。

「SKIP+CR,LF」 【SKIP】

「LIVE+CR,LF」 【LIVE】

3-2-22. 「RLV01+CR,LF」～「RLV16+CR,LF」 (Read Live channel VCR ch.1～16)

各チャンネルのLIVE CHANNEL VCRの設定を返します。

「SKIP+CR,LF」 【SKIP】

「LIVE+CR,LF」 【LIVE】

3-2-23. 「RM+CR,LF」 (Read Mode)

MCS-1640の現在の状態を返します。

「CAS F+CR,LF」

単画面オートシケンスで動作中

「CAS M+CR,LF」

分割画面オートシケンスで動作中

「C01+CR,LF」～「C16+CR,LF」

カメラ ch.

「CM4A+CR,LF」

カメラ4分割A

「CM4B+CR,LF」

カメラ4分割B

「CM4C+CR,LF」

カメラ4分割C

「CM4D+CR,LF」

カメラ4分割D

「CM9A+CR,LF」

カメラ9分割A

「CM9B+CR,LF」

カメラ9分割B

「CM16+CR,LF」

カメラ16分割

「P01+CR,LF」～「P16+CR,LF」

Playback ch.

「PM4A+CR,LF」

Playback 4分割A

「PM4B+CR,LF」

Playback 4分割B

「PM4C+CR,LF」

Playback 4分割C

「PM4D+CR,LF」

Playback 4分割D

「PM9A+CR,LF」

Playback 9分割A

「PM9B+CR,LF」

Playback 9分割B

「PM16+CR,LF」

Playback 16分割

「A01+CR,LF」～「A16+CR,LF」

Alarm 保持中 ch.

「BYPASS+CR,LF」

VCR Bypass

「MENU+CR,LF」

Menu 表示中

3-2-24. 「RPA+CR,LF」 (Read Playback Alarm)

CAMERA←P.Bの設定を返します。

「ON+CR,LF」 【ON】

「OFF+CR,LF」 【OFF】

3-2-25. 「RSM+CR,LF」 (Read Spot Monitor)

SPOT MONITORの設定を返します。

「SM01+CR,LF」～「SM16+CR,LF」

3-2-26. 「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

マルチプレクサ (MCS-1640) の日付&時刻を返します。

「yy. mm. dd hh:MM:ss+CR,LF」

yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-27. 「RTSD+CR,LF」 (Read Time Signal Display)

TIME SIGNAL DISPLAYの設定を返します。

「TSD D+CR,LF」 【D/M/Y】

「TSD M+CR,LF」 【M-D-Y】

「TSD Y+CR,LF」 【Y. M. D】

- 3-2-28. 「R T S F+CR,LF」 (Read Time Signal monitor Full)
 TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を返します。
 「T S F ON+CR,LF」 【ON】
 「T S F OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-29. 「R T S M+CR,LF」 (Read Time Signal monitor Multi)
 TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を返します。
 「T S MON+CR,LF」 【ON】
 「T S MOF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-30. 「R T S V+CR,LF」 (Read Time Signal VCR output)
 TIME SIGNAL VCR OUTPUT の設定を返します。
 「T S V ON+CR,LF」 【ON】
 「T S V OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-31. 「R V L M O+CR,LF」 (Read Video Loss Monitor Out)
 VIDEO LOSS MONITOR OUT の設定を返します。
 「V L M O ON+CR,LF」 【ON】
 「V L M O OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-32. 「R V L V O+CR,LF」 (Read Video Loss VCR Out)
 VIDEO LOSS VCR OUT の設定を返します。
 「V L V O ON+CR,LF」 【ON】
 「V L V O OF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-33. 「R V L C+CR,LF」 (Read Video Live Color)
 VIDEO LIVE COLOR の設定を返します。
 「0 0+CR,LF」 ～ 「1 5+CR,LF」 【0 0】 ～ 【1 5】
- 3-2-34. 「R V P C+CR,LF」 (Read Video Playback Color)
 VIDEO P.B. COLOR の設定を返します。
 「0 0+CR,LF」 ～ 「1 5+CR,LF」 【0 0】 ～ 【1 5】
- 3-2-35. 「R V R C+CR,LF」 (Read Video Record Color)
 VIDEO RECORD COLOR の設定を返します。
 「0 0+CR,LF」 ～ 「1 5+CR,LF」 【0 0】 ～ 【1 5】
- 3-2-36. 「R V T M+CR,LF」 (Read VCR Trigger Mode)
 VCR TRIGGER MODE の設定を返します。
 「V T M H+CR,LF」 【H I G H】
 「V T M L+CR,LF」 【L O W】
 「V T M O+CR,LF」 【O F F】
- 3-2-37. 「R V T F+CR,LF」 (Read VCR Trigger Field)
 VCR TRIGGER FIELD の設定を返します。
 「0 0 2+CR,LF」 ～ 「9 9 9+CR,LF」 【0 0 2】 ～ 【9 9 9】

4. ご注意

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

Command の発行と同時に MCS-1640 のフロントスイッチを操作されますと誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 1 0 0 mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

Title キャラクタ設定 (C A Command) の発行を連続で行う場合 5 0 0 mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

ASCII CODE表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02BH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH